

## 第2章

### 施策マネジメントシートによる評価



## 1 学校教育の充実

第4期芽室町総合計画

政 策	4-1	豊かな心を育む人づくりの推進
施 策	└──	4-1-1 学校教育の充実
主 管 課		学校教育課

## 2 生涯学習の推進

第4期芽室町総合計画

政 策	4-1	豊かな心を育む人づくりの推進
施 策	└──	4-1-2 生涯学習の推進
主 管 課		社会教育課

## 3 青少年の健全育成

第4期芽室町総合計画

政 策	4-1	豊かな心を育む人づくりの推進
施 策	└──	4-1-3 青少年の健全育成
主 管 課		社会教育課

## 4 地域文化の振興

第4期芽室町総合計画

政 策	4-2	交流を通じた魅力ある地域文化の形成
施 策	└──	4-2-1 地域文化の振興
主 管 課		社会教育課

## 5 スポーツしやすい環境づくり

第4期芽室町総合計画

政 策	4-2	交流を通じた魅力ある地域文化の形成
施 策	└──	4-2-2 スポーツしやすい環境づくり
主 管 課		社会教育課

## 6 国際・地域間交流の推進

第4期芽室町総合計画

政 策	4-2	交流を通じた魅力ある地域文化の形成
施 策	└──	4-2-3 国際・地域間交流の推進
主 管 課		企画財政課
施策関係課		農林課・社会教育課

施策番号 4-1-1	施策名 学校教育の充実	基本目標 個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり
		政策名 豊かな心を育む人づくりの推進
	主管課 学校教育課	課長名 松浦 智幸
	施策関係課	内線 511

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
信頼される学校づくりを推進し、新しい時代を自ら切り拓くことができる心身豊かな人づくりを目指します。		児童生徒	確かな学力、豊かな心と健やかな体を育み、「生きる力」を身に付ける				児童生徒が社会に出たときに自立できる
成果指標	説明	単位	2017年度(実定)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 「学校生活や授業が楽しい」と思う児童生徒の割合	学校評価	%	89.3	88.5	89.4	90.0	
② 「授業が子どもにとって楽しく分かるように進められている」と思う保護者の割合	学校評価	%	83.6	85.4	80.6	85.0	
③ 毎日朝食を摂っている児童生徒の割合	生活習慣・学習環境等状況調査	%	88.5	85.7	83.1	90.0	
成果指標設定の考え方	①及び②については、各学校の学校評価項目から、類似又は関連する評価項目を参考にするとともに、前期実施計画の実績なども考慮し目標値を設定した。 ③については、前期実施計画では食育の推進を成果指標としていたが、児童生徒の健やかな体の育成からも本施策の成果指標とし、①及び②同様、前期実施計画の実績なども考慮し目標値を設定した。						

## 2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	1,238,297	907,458
人工数(業務量)	6.0677	6.4412

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
① 2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	「②」成果指標は前年度を下回ったが、「①」の成果指標は前年上回るとともに「③」の成果指標も前年を下回ったものの、全国・全道平均以上のため、総体としては「成果は変わらなかった」とした。
② 第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	結果としては、最終年度における目標達成とはならなかったが、①の項目は、概ね目標達成数値となったが、②の項目は保護者アンケート等による数値把握のため、年度により数値の増減があった。また、③の項目についても、全国・全道平均以上の数値であり、朝食を「毎日食べている」及び「ほぼ食べている」割合では、95.2%以上となっている。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	(小学校・中学校)施設維持管理事業 児童生徒支援事業 (小学校・中学校)教材・教具整備事業 学校給食管理運営事業	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	・学校施設などについては、年次計画に基づき工事・備品購入を行うとともに緊急修繕等の実施により、安心・安全な教育環境の整備に努めた。 ・特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対しては、各学校の実態を踏まえた上で教育活動指導助手や学校支援員を配置し、個に応じた学習支援を行うとともに、小学校3・4年生の35人以下学級編制のため教育活動指導助手を配置するとともに、平成30年度からは小学校5・6年生へも拡大し実施した。 ・芽室産食材を活用した「めむろまるごと給食」実施、食物アレルギー等に対する代替食の提供、栄養教諭による全校全学級の食育指導を実施した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設などの老朽化対策や多様なニーズへの対応と、個別施設毎の長寿命化計画の策定。</li> <li>・社会に開かれた教育課程の実現を重視した新学習指導要領(小学校での英語教科化やプログラミング教育など)への対応とともに、地域とともにある学校づくりの推進。</li> <li>・町の発達支援システムと連携した特別なニーズに対応した教育の推進のための教育活動指導助手や学校支援員の充実。</li> <li>・学校給食(食物アレルギー対応を含む)の提供と食育指導の継続に向けた体制などの継続充実。</li> <li>・学校給食費保護者負担金の在り方検討</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともにある学校づくりとしてのコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進。 ⇒令和元年度から学校運営協議会制度をスタート</li> <li>・大学等奨学金貸付制度や就学援助など教育の機会均等などの確保に向けた施策の充実。 ⇒平成29年度から、連帯保証人の町内在住要件の廃止、通年貸付の実施、貸付者が卒業後芽室町に戻り、一定期間居住等をした場合の一部償還免除制度の創設</li> <li>⇒平成29年度から、就学援助の新入学用品費に係る入学前支給を実施</li> <li>・修学旅行費や学校給食費などの保護者負担金への支援。</li> </ul>

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○新学習指導要領実施など教育環境の整備に向けた対応 ⇒外国語活動・外国語科の推進に向けた英語指導助手の配置や、プログラミング教育等のためのICT教育環境の整備</li> <li>⇒少人数学級の拡大や発達支援システムと連携した特別支援教育の充実に向けた人員の増員</li> <li>○学校施設などの環境整備 ⇒長寿命化基本とした老朽化改修と多様なニーズに対応した施設整備</li> <li>⇒個別施設毎の長寿命化計画の策定</li> <li>○学校給食の提供や食育指導に向けた体制の充実 ⇒児童生徒数の減少に伴う道教委配置の栄養教諭の減員に伴う対策と体制の充実</li> </ul>
---

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	学校指導助手の配置拡大や施設整備など、教育環境の充実に努めており、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
				○		
今後の取組に対する意見	個別施設の改修や、多様なニーズに対応した環境整備など計画的に進めてもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 実現した</li> <li>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</li> <li>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</li> <li>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</li> <li>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</li> </ul>				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	少人数学級の拡大やそれに伴う指導助手の配置など、独自の施策に取り組んでおり、他課と連携した対応も行っている。	A	B	C	D	E
				○		
今後の取組に対する意見	授業数の増加による時間割の配分など、町も状況を確認しながら進めてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 実現した</li> <li>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</li> <li>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</li> <li>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</li> <li>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</li> </ul>				

施策番号	施策名	外部意見		担当課
4-1-1	学校教育の充実	意見	授業数の増加による時間割の配分など、教育委員会も状況を確認しながら進めてほしい。	学校教育課
		対応方針	① 対応する      2 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	教育課程支援事業など	
		対応内容	学習指導要領に基づく授業時数を確保した上で、時間割の配分などは各学校長の権限のもと学校運営がなされておりますが、教育委員会としても、各学校の教育課程の内容を確認するとともに連携を図りながら、児童生徒の教育環境の充実に向けた取組みを推進しております。	
4-1-1	学校教育の充実	意見	学校に関して評価の項目が少ない。いじめや不登校などについて、指標ではない部分で触れる必要はないのか。	学校教育課
		対応方針	1 対応する      2 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	児童生徒支援事業など	
		対応内容	総合計画の施策評価項目数は、3項目程度で統一されております。また、いじめや不登校などは、「規範意識や思いやりの心など豊かな心の育成」の施策内容で記載しているとともに、いじめの認知件数などは、芽室町要保護児童対策地域協議会代表者会議等でも情報の共有化に努めております。	



施策番号 4-1-2	施策名 生涯学習の推進	基本目標 個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり
		政策名 豊かな心を育む人づくりの推進
	主管課 社会教育課	課長名 日下 勝祐
	施策関係課	内線 517

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果			
生涯学習の機会や場の提供により、学習意欲に対応した生涯学習環境の充実を図ります。	町民	生涯にわたって学習できる環境の整備を行う	町民一人ひとりが自己の充実を図り、心豊かに暮らすことができるまちづくり			
成果指標	説明	単位	2017年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
① 図書館資料年間貸出数	図書館調べ	冊	184,137	164,255	163,890	190,000
② 1年間に生涯学習(学習経験)を行った町民の割合	住民意識調査	%	55.9	53.5	57.3	60.0
③ 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	%	35.7	39.1	38.4	40.0
成果指標設定の考え方	①年間図書資料貸出数を策定時目標である184,137冊から段階的に190,000冊までの増を目指す。 ②・③公共施設以外で行われる学習機会の利用者も想定され、実態の把握は困難であるが、それぞれ60%・40%以上の目標値を維持する。なお、③について町・村は30%以上が多い。					

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	105,184	147,841
人件数(業務量)	2.6599	2.6102

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
① 2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	図書貸出数は特設コーナーの設置等を試みた結果、近年の減少傾向から横ばいにとどめることができた。 生涯学習では、児童生徒・高齢者対象事業に比べ、成人対象事業の縮小が要因。
② 第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	図書については、学校図書貸出数(約2万冊)を含めてもやや目標に達しなかった。出張図書館や館外奉仕事業の充実を図ったが、来館者や貸出数の減少がそれを上回る結果となった。 生涯学習については、公民館や図書館講座、児童生徒への体験学習、高齢者学級の充実に努めたが、成人教育事業の縮小もあり住民意識の向上にまで繋がらなかった。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	少年教育活動運営事業 家庭教育学級活動支援事業 図書館ボランティアサークル活動支援事業	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	成人教育活動運営事業
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	・家庭教育学級の継続支援として、より身近な課題を取り上げ、実践的な勉強会として「めむろ家庭学級講演会」を開催し学習機会と意見交換機会の確保に努めた。 ・図書館では、時々々の時事問題に対して提供できる図書の特別展示を行うとともに、図書館内外での読書推進のためのイベント開催等に努めた。ボランティアによる協力体制が継続することで図書館まつりが安定的に実施できた。 ・児童生徒や高齢者に対する生涯学習の機会は、必要な見直しを加えながら実施してきたが、成人教育事業については、複数年にわたり課題解決への道筋が見いだせず、縮小する結果となった。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の概念である「いつでも・どこでも・誰でも」自由に学べる学習環境の整備が求められる。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→学習形態の多様化などに対応するために、住民ニーズに沿った事業検討。</li> <li>→高齢者学級の学習プログラムの見直しや、通園のための交通手段の確保。</li> <li>→コミュニティスクールの取組みによる地域教育力の向上。学校・家庭・地域・行政の連携強化。</li> </ul> </li> <li>・民間活力の有効活用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→様々な分野で活躍している団体や調査・研究する組織との連携による事業化。</li> </ul> </li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現役世代(成人教育)に対する事業の推進。</li> <li>・コミュニティスクールの取組みによる地域と学校の連携強化。</li> <li>・避難施設としての機能強化(公民館)。</li> <li>・図書館のエアコン空調の設置。</li> </ul>

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育推進中期計画(H31-R4)の着実な推進。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→コミュニティスクールの推進。地域学校協働活動の推進による学校、家庭、地域、行政の連携強化。</li> <li>→成人教育事業内容の再検討。</li> <li>→高齢者学級の学習プログラムの随時見直しと、通園のための交通手段の確保。</li> <li>→地域の指導者、ボランティアの協力と活動・活躍機会の提供。</li> </ul> </li> <li>・社会教育施設の有効活用と維持管理                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→図書館機能の再点検(図書、視聴覚備品等のあり方)。</li> <li>→かっこう、ねんりんの運営方法と備品整備。</li> </ul> </li> </ul>
---

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

		A	B	C	D	E
評価	児童生徒、高齢者などの学習機会の充実に努め、見直しを行いながら事業を実施しており、施策全体として前進したと評価する。			○		
今後の取組に対する意見	関係課・団体との連携を強化し、社会教育推進中期計画に基づき進めてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

		A	B	C	D	E
評価	柏樹学園のバス運行など、課題解決に向けた取組を進めている。			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用の増加に向けた働きかけなどを継続してほしい。</li> <li>・公民館、図書館などの空調(エアコン)について今後整備に向けて検討してほしい。</li> </ul>	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した				

施策番号	施策名	外部意見		担当課
		意見		
4-1-2	生涯学習の推進	意見	デジタル化が進む中で、図書館利用の増加に向けた働きかけなどを継続してほしい。	社会教育課
		対応方針	① 対応する      2 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業 ほか	
		対応内容	資料収集、職員資質向上、事業や展示などの読書推進活動、情報発信などで魅力のある図書館作りを進めます。	
4-1-2	生涯学習の推進	意見	公民館・図書館などの空調（エアコン）について、今後整備に向けて検討してほしい。	社会教育課
		対応方針	1 対応する      ② 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	公民館維持管理事業・図書館維持管理事業	
		対応内容	町立施設全体で計画的に設置することとなるが、施設の充実を図るためにも設置を検討する。	
4-1-2	生涯学習の推進	意見	コミュニティスクールについて、子どもセンター等とも連携して進めてほしい。	学校教育課
		対応方針	1 対応する      ② 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	少年教育活動事業	
		対応内容	地域の方々の活動としてどのようなことが、子どもセンターでできるか、担当課と連携して検討していきたい。	



施策番号 4-1-3	施策名 青少年の健全育成	基本目標 個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり
		政策名 豊かな心を育む人づくりの推進
	主管課 社会教育課	課長名 日下 勝祐
	施策関係課	内線 517

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果			
青少年が、社会のルールを身につけることが出来るような体験学習への参加や団体の連携などを促進し、健全育成をすすめます。	町民	団体行動や社会生活を学び、社会のルールを身につける	自ら判断する力や責任感が身につけられる			
成果指標	説明	単位	2017年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
① 芽室町の小中学生は基本的ルールを身につけていると感じる町民の割合	住民意識調査	%	40.7	56.7	58.8	45.0
②						
③						
成果指標設定の考え方	平成25年度実績で計画策定時の目標に到達しているが、青少年の健全育成に関わることから、引き続き45%以上を維持する。					

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	7,236	6,051
人正数(業務量)	1.1315	0.9607

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
① 2018年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	既に目標は達成しているが、更に青少年健全育成協議会をはじめとする関係団体の連携による事業展開が要因。
② 第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	目標は達成できた。 児童生徒を対象とした集団での野外活動体験や、宿泊体験の実施、友好都市や国際姉妹都市との交流体験などの実施による。 また、青少年健全育成協議会やPTA連合会などの積極的な活動と学校、地域との連携が図られたことが要因。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	少年教育活動運営事業 青少年健全育成協議会支援事業 地域子ども会育成連絡協議会支援事業 芽室町PTA連合会活動支援事業	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	・青少年健全育成のための関係機関の連携強化 →青少年健全育成協議会では、PTA連合会と教育委員会とともに「芽室町スマホ・ケータイ・ネット親子のルール宣言」を策定し、周知、啓発活動を実施した。また、各中学校の生徒会に働きかけ、生徒会活動でこの宣言内容について積極的に意見交換をってもらう機会を得た。 ・基本的な生活習慣など青少年健全育成 →「通学合宿めむる塾」や夏・冬休みに開催している「寺子屋めむる」など、団体生活や体験学習を通し、発達段階に応じた生活習慣や社会ルールを身につける事業展開が施策の成果向上に繋がった。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子ども会活動では、休会となる町内会が増加。</li> <li>・子どもの減少、育成指導者のなり手不足に伴う活動団体数の減少。 →複数町内会など広域的な活動のあり方を検討。</li> <li>→市街地町内会連合会や商工会等との連携事業の検討。</li> <li>→コミュニティスクールの取組みによる地域学校協働活動におけるサポート事業の検討。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	子ども会組織の減少に対する支援策の検討。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットトラブル等に対する青少年健全育成 →青少年健全育成協議会では、PTA連合会と教育委員会とともに「芽室町スマホ・ケータイ・ネット親子のルール宣言」を策定。今後さらに周知、啓発活動の取組強化を図る。</li> <li>・基本的な生活習慣や多様な体験活動の推進 →青少年の教育活動(わんぱくキャンプ、通学合宿など)で、基本的な生活習慣とともに食育の観点も取り入れた事業の充実。</li> <li>・コミュニティスクールの取組み →地域学校協働活動の推進により、学校・家庭・地域・行政の連携による事業の推進。</li> </ul>
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	指標は向上・達成しており、地域や関係機関と連携強化を図りながら積極的に取組を進めていることから、大きく前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果		○			
今後の取組に対する意見	今後も計画に基づき取り進めてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	子どものネット・ゲーム利用など、まだ普及啓発が必要な取組はあるが、町としてやるべきことは積極的に取り組んでいる。		A	B	C	D	E
		進捗結果		○			
今後の取組に対する意見	子どものネット利用について、親に対する支援や学習会など、具体的な対応の啓発も行ってほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

施策番号	施策名	外部意見		担当課
4-1-3	青少年の健全育成	意見	子どものネット利用について、町や関係機関にも啓発を行ってほしい。また、親に対する支援や学習会など、具体的な対応の啓発も必要ではないか。	社会教育課
		対応方針	1 対応する      ② 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	家庭教育学級活動支援事業	
		対応内容	芽室町にネットとの関わり方について、インストラクター資格をお持ちの方がおり、すでに家庭教育学級の説明会の際にお知らせをしています。 また、「スマホ・ケータイ・ネット」ルール宣言をしていることから、あらゆる機会でもこれからも周知を図っていきます。	



施策番号 4-2-1	施策名 地域文化の振興	基本目標 個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり
		政策名 交流を通じた魅力ある地域文化の形成
	主管課 社会教育課	課長名 日下 勝祐 内線 517
	施策関係課	

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果			
地域における文化活動への参加を促進するとともに、文化財などの活用をすすめます。	町民	・文化活動に参加してもらおう ・文化活動が盛んになる	心が豊かになる			
成果指標	説明	単位	2017年度(確定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
① 地域文化活動への参加者数	社会教育課調べ	人	727	558	562	900
② 参加できる文化活動の数	社会教育課調べ	回	16	16	16	16
③ 文化活動がしやすいと感じる町民の割合	住民意識調査	%	37.7	42.2	41.6	40.0
成果指標設定の考え方						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	24,709	13,128
人工数(業務量)	0.7116	0.7844

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
① 2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	文化活動の事業実施に大きな変更点がなかったこと。文化協会の会員数が減少していること。
② 第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	①については、 ・地域文化活動への参加者数は、文化協会加入人数を指標の一部としているが、加入団体と会員数が減少しているため、目標は達成できなかった。 ②③については、 文化活動の確保と町民参加による文化芸術鑑賞会内容検討会議の活動もあり、目標を達成できた。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	町民文化展開催事業 文化団体活動支援事業 芸術鑑賞会等開催事業 芸術・文化振興事業	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	・町民との連携による文化芸術活動の充実 → 芸術鑑賞会等開催事業は、町民を含めた文化芸術鑑賞会内容検討会議により鑑賞内容の選定など運営に携わっていただき、鑑賞した参加者からの評価を得ることができ、施策目標の達成に寄与した。 ・児童生徒の文化芸術振興 → 全国全道大会出場支援や芸術鑑賞支援は、文化活動がしやすいと感じる町民の割合への貢献度が高い。 ・文化活動への多様化するニーズへの対応と、団体会員の減少、指導者、後継者の確保という課題が残る。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果				○	

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞会の開催は、これまでの内容検討委員会から、企画運営に携わる実行委員会へと組織を改め、より積極的な関わりを持って参画していただく。</li> <li>・文化協会の会員高齢化に伴う会員数が減少。</li> <li>・個々の文化活動に対するニーズが多様化。 →団体活動の指導者、後継者不足への対策が急務。 →文化協会の活動内容の検討。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	文化協会の活動に要する施設利用料の減免要請。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化団体の指導者、後継者不足への対応策の検討(地域指導者登録制度の見直し、民間企業活動の活用等)</li> <li>・芸術鑑賞会の開催については、町民による実行委員会組織の立ち上げにより町民ニーズに対応。</li> <li>・文化芸術活動に対する施設利用料も含めた社会教育施設利用料のあり方検討。</li> <li>・指定管理者と連携した公民館事業の充実。</li> <li>・文化活動に必要な施設備品の計画的な整備。</li> </ul>
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	団体に加入せずに個人で文化活動を実施している方も増えており、また、町民との連携による事業の充実にも努めており、施策全体として策定時と比較すると前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	関係団体との連携を強化し、事業を進めてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	活動やニーズが多様化する中で、取組は維持されている。子どもの文化振興を含め、継続して取り組んでいる。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会員の増加に向けた取組を検討してほしい。</li> <li>・ねんりんについて、町中での取組と連携させるなど、活用を検討してほしい。</li> </ul>	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

施策番号	施策名	外部意見		担当課
		意見		
4-2-1	地域文化の振興	意見	文化協会員の増加に向けた取組を検討してほしい。	社会教育課
		対応方針	① 対応する      2 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	芸術・文化振興支援事業	
		対応内容	昨年より、文化協会との話し合いを行い、どのような支援ができるか文化協会内部での検討を進めていただくようお願いしております。	
4-2-1	地域文化の振興	意見	ねんりんについて、まちなかでの取組と連携させるなど、活用を検討してほしい。	社会教育課
		対応方針	1 対応する      ② 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	ふるさと歴史館運営事業	
		対応内容	図書館や公民館と連携し、展示や講座などでどのようなことができるか検討していきたい。	



施策番号 4-2-2	施策名 スポーツしやすい環境づくり	基本目標 政策的 課長名	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり 交流を通じた魅力ある地域文化の形成		
	主管課 社会教育課	課長名	日下勝祐	内線	517
	施策関係課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図	結果			
町民がいつでも気軽に自由にスポーツができる環境づくりを進めます。	町民	いつでも気軽に自由にスポーツができるようにする	健康で明るいまちづくりを実現する			
成果指標	説明	単位	2017年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	63.3	70.8	66.1	70.0
② スポーツ指導員数 町内体育施設利用者数	指導員数 利用実績	人 人/ 年	113 174,075	100 177,639	99 171,864	126 198,000
③ 高校生以下のゲートボール競技人口	社会教育課調べ (競技人口)	人	9	13	17	20
成果指標設定の考え方	①健康で明るいまちづくりの推進のため、スポーツしやすい環境づくりのため70%以上を目指す。 ②スポーツしやすい環境への向上を目指し、施設利用者については前期計画策定時点の水準を目標とする。指導者数については、特にスポーツ少年団の指導者数を見込む。 ③ゲートボール発祥の地として、競技の普及啓発を行うこととしており、青少年層の競技者を継続して確保して					

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	175,029	259,746
人工数(業務量)	1.7710	1.7724

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察		
① 2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由 台風被害による、パークゴルフ場、サッカー場、野球場において利用者へ不便をおかけしたことも要因。指導者の安定的な確保に至っていないことも要因。
② 第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由) プールの老朽化、健康プラザ修繕カ所の増加に加え、台風被害によるパークゴルフ場、サッカー場、野球場の利用に支障があったことも要因の一つ。 一方、民間の企業、団体と連携したソフト事業の充実への期待があげられる。 ゲートボールの若年層への普及活動は継続するも、現時点で定着しているとは言えず、再考が必要。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括		
① 施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	スポーツ人材強化・育成事業 チャレンジデー実施事業 ゲートボール普及活動事業 各種大会出場支援事業	② 施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業
③ 事務事業全体の振り返り(総括)	・体育施設では、台風被害にあったパークゴルフ場、サッカー場、野球場の確保、改修等が急務であり、一定期間ご不便をおかけするが、早急に環境整備が必要。 ・各種大会出場の支援は、今後も継続実施。 ・発祥の地ゲートボールの普及は、児童生徒への取組みに加え、社会人(現役世代)へのアプローチが課題。 ・少年団活動等における指導者の育成確保については、地域内人材の発掘に加え、民間企業との連携等も構築する必要あり。	

(3) 施策の方針実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水プールの老朽化に対し計画的に整備を進める必要がある。</li> <li>・体育施設の再編について検討する必要がある。</li> <li>・ゲートボールの競技人口が減少しているため、若年層や社会人に対する普及活動の強化が求められる。</li> <li>・民間企業や団体との連携により、スポーツに取り組む環境の整備に取り組む必要がある。</li> <li>・児童生徒に対し、夢や目標を持ち挑戦するきっかけとなるソフト事業の充実が求められる。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水プールの早期建替要望がある。</li> <li>・議会から温水プール建替の提言がある。</li> <li>・温水プールに関する住民、利用者からのアンケート結果がある。</li> <li>・台風で被害を受けた施設の復旧要望がある。</li> </ul>

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水プールの建替基本計画を策定する。</li> <li>・プール跡地を含め、体育施設の再編整備について早急に検討する必要がある。</li> <li>・民間団体、組織との連携により「一流を見て、聴いて、学ぶ」ソフト事業の充実を図る。</li> <li>・ゲートボールは、日本ゲートボール連合が今後打ち出す「再生プラン」を踏まえ、一層の普及促進を図る。</li> <li>・少年団等の指導者育成確保について、地域内人材の発掘に加え、民間企業等の協力体制を調査、検討する。</li> </ul>
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	地域おこし協力隊の導入や一流に触れる機会の充実に向けた取組、温水プールの建替に取りかかるなど課題解決に向けて取組を開始しており、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	体育施設の再編整備について、関係課と連携を図り早急に進めてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	民間との協定締結や協力隊の活用など、スポーツ振興に向けた取組が行われている。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲートボールの普及について、子どもの頃から触れる機会を作る取組を進めてほしい。</li> <li>・少年団活動と地域活動については、バランスを取りながら取り組めるよう促してほしい。</li> </ul>	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

施策番号	施策名	外部意見		担当課
4-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	ゲートボールの普及について、子どもの頃から触れる機会をつくる取組を進めてほしい。	社会教育課
		対応方針	① 対応する      2 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	ゲートボール普及活動事業	
		対応内容	毎年、町内の小学3年生の総合学習や寺子屋等の事業の一環としてGB体験を継続して実施しているところです。今後もこの取り組みを継続し、芽室の子どもたちがGB競技に触れる機会を設け、競技の普及につなげるために取組んでいきます。	
4-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	少年団活動の中には地域活動にも取り組むということが謳われており、地域活動や異世代交流などをバランスを取りながら取り組めるよう促してほしい。	社会教育課
		対応方針	1 対応する      ② 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	スポーツ少年団支援事業	
		対応内容	子どもたちの成長にとって、様々な地域活動や世代間交流などを通じて培われる人とのつながりも重要との観点から、子どもたちが特定の活動に偏ることなく様々な活動に参加できるような方策について検討していきたいと考えます。	
4-2-2	スポーツしやすい環境づくり	意見	シニア層には卓球が人気であり、ふれあい交流館のように気軽にできる環境があれば良い（体育館では靴の履き替え、台の出し入れ等がある）。	社会教育課
		対応方針	1 対応する      ② 検討する      3 対応不可	
		対応事業名		
		対応内容	役場庁舎の建設に関連して保健福祉センターの改修を検討しており、ふれあい交流館で活動していた団体等の活動場所についてもあわせて検討しています。なお、総合体育館の利用にあたっては複数の競技でスペースを共用するため、特定の種目による占有は困難であることをご理解下さい。施設を使用するにあたり、用具の準備等でお手伝いが必要な際は、係員にお声掛け下さい。	



施策番号 4-2-3	施策名 国際・地域間交流の推進	基本目標 政策的 個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主管課 企画財政課	課長名 石田 哲
	施策関係課 農林課・社会教育課	内線 220

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
友好都市との交流を通して得られる情報をまちづくりに活かします。		町民 交流都市の住民	友好都市との交流に参加し、情報を得ることによって、他地域の歴史・文化、まちづくりの手法などを学ぶことができる				交流を通じた情報の連携によるまちづくりをすすめる
成果指標	説明	単位	2017年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 他都市(トレーシー・広尾・揖斐川)との友好・交流提携の事実を知っている町民の割合	住民意識調査	%	トレーシー 61.4 広尾町 44.1 揖斐川町46.9	トレーシー 71.5 広尾町 48.2 揖斐川町50.7	トレーシー 70.3 広尾町 46.5 揖斐川町57.0	トレーシー 65.0 広尾町 50.0 揖斐川町50.0	
② 行政が行っている交流事業・行事の数	企画財政課調べ	回/年	16	15	15	16	
③							
成果指標設定の考え方	①トレーシー市については前期実施計画と同様に65%を、揖斐川町と広尾町は後期実施計画策定時に約45%であったことから50%を目標とする。 ②後期計画策定時の交流行事を維持する目標とし16回とする。						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	17,728	14,411
人工数(業務量)	0.9815	0.7679

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	取り組み内容・成果指標に大きな変化がなかったため。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	広尾町については、目標値をクリアできなかったが、トレーシー市、揖斐川町については、目標値をクリアしており、民間団体による交流も進んだ。このため、概ね達成できたと判断する。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	国際交流推進事業 中学生国際交流事業 揖斐川町交流推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・ブラジル移民110周年を記念してブラジル・サンパウロで開催された世界ゲートボール選手権大会に出席し、交流を深めた。 ・揖斐川町との交流については、2019年度から職員の相互派遣を実施するため、協議を行った。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>〈施策を取り巻く状況〉 人口対策を進めるためには、郷土愛の醸成が効果的であり、そのためには、外からの視点で芽室町を見ることも重要である。</p> <p>〈今後の予測〉 認知度向上に向けて、交流内容などの周知手法を検討することが必要。 地域間交流は人的交流から経済交流に発展させるのが一般的であるが、行政の積極的な関与も重要である。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

課題① 民間による経済交流	<p>国際交流・地域間交流ともに、人材交流・物産交流・経済交流などに結び付けていくことが大きな目標であるが、各交流とも事業が定例化しているなかで、JA同士の協力関係が構築され、今後の経済交流が期待される。</p>
課題② 郷土愛の醸成	<p>郷土愛の醸成のためには、外からの視点で芽室町を見ることも重要であり、そのためには、友好都市との交流を積極的に活用することが効果的である。</p>

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	トレーシー市との交流により芽室町・トレーシー市交流協会が設立され交流が住民同士の交流につながっている。また、策定時と比較して友好・交流提携の事実を知っている町民の割合が増加しており、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
	進捗結果				○		
今後の取組に対する意見	友好都市との交流を強化することで、芽室町への興味関心や郷土愛が醸成されることを期待する。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	取組は維持されており、目標は概ね達成されていることから、庁内評価と同じく前進したと評価する。		A	B	C	D	E
	進捗結果				○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーシーへの派遣人数の増加など、取組の推進を検討してほしい。</li> <li>・広尾町との連携については認知度が低いため、交流が町民にも伝わるような取組を強化してほしい。</li> </ul>	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					

施策番号	施策名	外部意見		担当課
4-2-3	国際・地域 間交流の推 進	意見	トレーシーへの派遣人数の増加など、取組の推進を検討してほしい。	社会教育課
		対応方針	1 対応する      ② 検討する      3 対応不可	
		対応事業名	中学生国際交流事業	
		対応内容	派遣人数を増やす場合、トレーシー市側の受入体制やこちらの職員体制などを確認し検討したい。	

